

科目名	商品製作	整理番号	
学科	ファッション・プロデュース学科	期	通年
コース	ファッション・プロデュースコース		昼間
学年	3年	授業形態	実習60% 調査20% 講義20%
時間数	180	作成者	高木義隆

【科目の到達目標】

現在の市場を意識した商品のデザインと実習作品で商品サンプルを製作する。
また、商品についてのプレゼンテーション書類を作成し発表する。

【科目の概要】

市場分析などマーケティング的な観点から素材選定、パターン、デザインを企画し、実習作品を制作する。
また、現実的な商品を意識しながら企画できるように工場や産地見学、市場調査などを実施する。
アパレルに関する「川上から川下」工程をミニマムに一気通貫で実践的に学ぶ。産学官連携。

【授業計画】

90分/コマ	前期	後期
1 2 3	「商品製作」とは(産学官連携企画)	46 47 48 ニット産地研究1
4 5 6	都市形成と産業構造の変化	49 50 51 北陸ニット・眼鏡産地研修(1泊又は2泊)
7 8 9	素材・製品産地研究1	52 53 54 北陸ニット・眼鏡産地研修(1泊又は2泊)
10 11 12	素材・製品産地研究2	55 56 57 北陸ニット・眼鏡産地研修(1泊又は2泊)
13 14 15	産地研究の発表	58 59 60 学×学連携
16 17 18	泉州タオル産地の取り組み(SDGS)	61 62 63 学×学連携(校外学習)
19 20 21	泉州タオル産地見学(校外学習)	64 65 66 学×学連携
22 23 24	オーガニックコットン企画	67 68 69 学×学連携
25 26 27	オーガニックコットン企画	70 71 72 学×学連携
28 29 30	オーガニックコットン企画	73 74 75 商品製作(アパレル製造)
31 32 33	オーガニックコットン企画	76 77 78 商品製作(アパレル製造)
34 35 36	オーガニックコットン企画	79 80 81 商品製作(アパレル製造)
37 38 39	企業プレゼンテーション(リハ)	82 83 84 商品製作(アパレル製造)
40 41 42	企業プレゼンテーション	85 86 87 商品製作(アパレル製造)
43 44 45	前期末試験	88 89 90 後期末試験
	授業の順や内容は年度により変更あり ※産学官連携がない場合はドレーピング	授業の順や内容は年度により変更あり ※産学官連携がない場合はドレーピング

【成績評価方法】

提出物評価60% テスト30% 授業態度10%

【教科書・参考書】

『洋裁』服飾手帖社刊など適宜

【教材・教具】

実習用具一式 製図用具一式 筆記用具 コンピュータなど適宜

科目名	ファッションビジネスプランニング I	整理番号	
学科	ファッション・プロデュース	期	通年
コース	ファッション・プロデュース		昼間
学年	3	授業形態	講義 70% 実習 30%
時間数	120	作成者	太田 博
【科目の到達目標】 ビジネス的な観点から捉えたファッション業界に関する知識を講義と演習によって習得する。 また、任意に想定した企業向けの商品企画提案書をパソコンを使って作成ができる。 さらに後期に向けては、上田学園コレクションにて展示発表をする。			
【科目の概要】 変化する消費者の価値観をとらえ、市場にある商品(アパレル商品を含め)をマーケティング的視点でブランドトータルに企画する。 プレゼン(発表)の訓練。			
【授業計画】 90分/コマ		前期	後期
1・2	ファッションビジネス事業の特性	31・32	企画書草案 面談
3・4	歴史から学ぶファッションビジネス	33・34	草案プレゼン
5・6	ファッションビジネスの変化について	35・36	マーチャンダイジング①
7・8	ファッションビジネスの業界構造について①	37・38	マーチャンダイジング②
9・10	ファッションビジネスの業界構造について②	39・40	マーチャンダイジング③
11・12	マーケティングの要素	41・42	バイイング①
13・14	マーケティングと消費行動	43・44	バイイング②
15・16	マーケティングの基礎①	45・46	企画書作成
17・18	マーケティングの基礎②	47・48	プレゼンのしかた
19・20	マーケティングの基礎③	49・50	授業内プレゼン
21・22	ブランディング	51・52	経営戦略について
23・24	ビジネスモデルの概要	53・54	契約について
25・26	企画書の流れ説明①	55・56	仕事(プロフェッショナル)とは
27・28	企画書の流れ説明②	57・58	まとめ講義
29・30	前期まとめ 講義・試験	59・60	後期試験
【成績評価方法】 課題 60% 試験 30% 出席率、授業態度 10%			
【教科書・参考書】 プリントを配布			
【教材・教具】 筆記用具			
【実務経験の内容】 大手総合アパレル企業の企画職を経て企画会社を設立し、現在はOEM、ODM、小売事業を手掛けるなど、40年に及ぶ幅広いファッション業界での経験を活かし、ファッションビジネス企画の知識・技術を指導する。			

科目名	ファッションデザイン&プランニング I	整理番号	
学科	ファッション・プロデュース学科	期	通年
コース	ファッション・プロデュースコース		昼間
学年	3年	授業形態	講義 50% 実習 50%
時間数	90	作成者	三谷和也

【科目の到達目標】

ビジネス的な観点から捉えたファッションとアパレルデザインに関する知識を講義と演習により修得する
また、任意に想定したアパレル企業向け商品の企画提案書類をコンピュータを使って作成できる。
後期には、チームによるオリジナル商品企画制作を学び、各セクションの役割とグループワークを把握させる。

【科目の概要】

変化する消費者の価値観を捉え、アパレル商品をマーケティング的視点でブランドトータルにデザインする。
書類作成に必要なコンピュータの操作とアプリケーションの解説と演習。
後期には、グループ制作によるブランド企画を展示形式で発表し、企画書類にしてプレゼンテーションする。

【授業計画】

前期		後期	
90分/コマ			
1	ファッションプロデュースとは1	16	アパレル企画ドローイング1
2	PCによるハンガーイラストレーション1	17	PCによるドローイング着色
3	デザイン知識(シャツブラウス)	18	アパレル企画ドローイング2
4	PCによるハンガーイラストレーション2	19	PCによるドローイング柄入れ
5	デザイン知識(ニット&カットソー)	20	商品企画プレゼンテーションマップ作成
6	PCによるハンガーイラストレーション3	21	商品企画プレゼンテーションマップ作成
7	デザイン知識(ジャケット&ボトム) ★	22	商品企画プレゼンテーションマップ作成
8	PCによるハンガーイラストレーション4	23	商品企画発表
9	デザイン知識(コート&ワンピース)	24	サンプルを使用しての指図書作成1
10	PCによるハンガーイラストレーション5	25	サンプルを使用しての指図書作成1
11	色彩の知識	26	素材の知識
12	PCによるハンイラ&着色 ★	27	PCによる素材表現(ハンイラ)
13	柄の知識 柄の作り方	28	プリント知識
14	PCによるハンイラへの柄の入れ方	29	プリントの送りの付け方
15	テスト・まとめ	30	副資材の知識
		31	PCによるロゴ、ワッペン製作
		32	機能素材、機能ファッションの知識
		33	機能素材、機能ファッションの知識
		34	カットソーの仕様知識
		35	PCによるカットソーの指図書作成
		36	ショップ&VMDの知識
		37	PCによるショッププロデュースマップ作成
		38	PHOTOSHOPによるヴィジュアル
		39	PHIによるドローイング
		40	PHOTOSHOPによるヴィジュアル
		41	PHIによるドッキング商材
		42	音楽とファッションのコラボを調査
		43	音楽とファッションのコラボを発表
		44	音楽とファッションのコラボを発表
		45	テスト・まとめ

【成績評価方法】

出席率10% 課題60% 試験30%

【教科書・参考書】

必要に応じてプリント配布 椎塚 武『ファッション業界戦略地図』
『スタイリングブック』グラフィック社

【教材・教具】

筆記用具 描画用具 ケント紙 ペン マーカー PC
配布レジュメ 講義内容をプロジェクタで投影

【実務経験の内容】

大手総合アパレルメーカーでデザイナーとして企画に携わり、独立した現在もアパレル製品の商品企画等に取り組んでいる経験を活かし、ファッションデザインおよび商品企画に必要な知識・技術を指導する。

科目名	産業組織心理論	整理番号	
学科	ファッション・プロデュース学科	期	通年
コース	ファッション・プロデュースコース		昼間
学年	3年	授業形態	講義 70% 実習 30%
時間数	60	作成者	太田 博

【科目の到達目標】

ビジネス(産業)をささえる組織運営や、個人あるいは集団のモチベーション維持さらにリーダーシップのあり方を心理的側面から理解できる。

【科目の概要】

すべての産業は人間関係によって成り立つという大原則に基づいて、より深くビジネスを理解し人の心の動きをビジネス戦略に置き換えられるようになる。

【授業計画】

90分/コマ	前期	後期
1	販売心理	16 産業組織心理
2		17
3		18
4		19
5		20
6		21
7	社会心理	22
8		23
9		24
10		25
11		26
12	マネジメントと組織心理	27 コミュニケーション心理について
13	マネジメントと組織心理	28 コミュニケーション心理について
14	前期まとめ講義	29 後期まとめ講義
15	前期試験	30 後期試験

【成績評価方法】

提出物評価60% テスト30% 授業態度10%

【教科書・参考書】

【教材・教具】

科目名	コンピュータ演習Ⅲ[A] データサイエンス系	整理番号	
学科	ファッション・プロデュース学科	期	通年
コース	ファッション・プロデュースコース		昼間
学年	3年	授業形態	講義 20% 実習 80%
時間数	60	作成者	鶴 鉄雄

【科目の到達目標】

問題解決に当たって、客観的な統計資料を提示しながら効果的にスライドで表現し伝えることができる。

【科目の概要】

身の回りでいま何が起きているのか？それがどのような影響を及ぼしてくるのか？いま何をすべきなのか？といった社会の問題解決に対してデータや統計資料を活用しプレゼンテーションできる能力を身につける

【授業計画】

90分/コマ	前期	後期
1	ガイダンス、スキルチェック	16 統計・データサイエンス活用 ～上級編～
2	情報収集とデータ分析導入	17 * 統計的探求のプロセス
3	* 公開データの検索と入手	* 実践Ⅰ データから有用な情報を引き出す
4	* データの整理とリスト化	* 実践Ⅱ 不確実な事象を理解する
5	* ピボットテーブルの設定	* 実践Ⅲ モデルに基づいて現象を理解する
6	* ピボットテーブルによる分析	* 実践Ⅳ 標本データから全体を推測する
7	* 分析結果の言語化	* 地域の課題解決と統計活用
8	* 分析レポートのまとめ	* 公的統計を通して世界を見る
9	* プレゼンテーション	* 統計調査の重要性を学ぶ
10		
11	統計活用～基礎編～	
12	* 統計的探求プロセスの考え方	
13	* 統計的探求を実践してみよう	
14	* 統計的探求プロセスを身近なものにしよう	
15	* ささまざまな統計データをいかに活用するか	
16	* 統計をさらに知る	
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		
26		
27		
28		
29	テスト	テスト
30	まとめ	まとめ

【成績評価方法】

提出物評価60% テスト30% 授業態度10%
 以上を指導要項の認定要項に基づいて総合的に評価する。

【教科書・参考書】

PDFを配布 総務省教材「生徒のための統計活用～基礎編～」「高校からの統計・データサイエンス活用 ～上級編～」

【教材・教具】

パソコン、スマートフォン

科目名	PC演習Ⅲ-B	整理番号	
学科	ファッション・プロデュース学科	期	通年
コース	ファッション・プロデュースコース		昼間
学年	3年	授業形態	講義 20% 実習 80%
時間数	60	作成者	長崎隼人

【科目の到達目標】

プレゼンテーション等で訴求力の高い資料作成ができる人材を育成する。

【科目の概要】

Illustrator、Photoshopを活用し、実践的な資料作成の技術を学ぶ。□
印刷物等のデザインにおけるレイアウトの基礎を学習する。
インターネット、ホームページへの理解を深める。

【授業計画】

90分/コマ	前期		後期
1	PCデザイン基礎	16	WEB制作
2	PCデザイン基礎	17	WEB制作
3	PCデザイン基礎	18	WEB制作
4	PCデザイン基礎	19	WEB制作
5	PCデザイン基礎	20	WEB制作
6	PCデザイン基礎	21	WEB制作
7	PCデザイン基礎	22	映像制作
8	PCデザイン基礎	23	映像制作
9	PCデザイン基礎	24	映像制作
10	PCデザイン基礎	25	新規技術研究
11	WEB制作	26	新規技術研究
12	WEB制作	27	新規技術研究
13	WEB制作	28	新規技術研究
14	WEB制作	29	新規技術研究
15	まとめ・テスト	30	まとめ・テスト

【成績評価方法】

課題提出(的確さ、完成度)70% 授業への取り組み態度30%
以上を指導要項の認定要項に基づいて総合的に評価する

【教科書・参考書】

【教材・教具】

教材:プリントやデータで配布
準備物:筆記用具

科目名	キャリアデザインII	整理番号	
学科	ファッション・プロデュース学科	期	前期
コース	ファッション・プロデュースコース		昼間
学年	3年	授業形態	講義 50% 実習・演習 50%
時間数	30	作成者	今 恒男
【科目の到達目標】			
<p>本格的な就職活動開始に向けて、自分が何を準備し、それをどのように表現して相手に伝えるべきかを、キャリアデザインIで整理した自分自身の情報をもとに考え、整えます。</p> <p>同時に企業で実施されるインターンシップについても、積極的に参加するための心構えを身に付けます。</p>			
【科目の概要】			
<p>自分自身が描くキャリアを実現に近づけるため、採用する側の目線に立ち、自分自身の何を伝えるべきかを考えます。また、同年代の学生に負けないアピールのあり方を知るとともに、実践的な演習に取り組みながら等身大の自分をプレゼンテーションできる力を身に付けます。</p>			
【授業計画】			
90分/コマ			
1	<ul style="list-style-type: none"> ・就職活動の心構え <li style="padding-left: 20px;">就職活動の取り組み方、基本マナーの習得（返事、あいさつ、姿勢、お辞儀） 		
2	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーションの基本① <li style="padding-left: 20px;">「聴く力」と「伝える力」 		
3	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーションの基本② <li style="padding-left: 20px;">コミュニケーション・トレーニング 		
4	<ul style="list-style-type: none"> ・「就職の軸」を考える <li style="padding-left: 20px;">仕事の優先順位とこだわりの優先順位を考える 		
5	<ul style="list-style-type: none"> ・企業研究のすすめ方 <li style="padding-left: 20px;">企業研究を行うポイントとその方法 		
6	<ul style="list-style-type: none"> ・企業研究実践 <li style="padding-left: 20px;">実際に企業研究を行い、企業の特徴や仕事の具体的内容を調べてみる 		
7	<ul style="list-style-type: none"> ・自己PR作成 <li style="padding-left: 20px;">自分自身のアピールポイントを文章で表現する 		
8	<ul style="list-style-type: none"> ・志望動機作成 <li style="padding-left: 20px;">志望企業の応募理由を明確に文章で表現する 		
9	<ul style="list-style-type: none"> ・応募書類を作成する① <li style="padding-left: 20px;">履歴書編 		
10	<ul style="list-style-type: none"> ・応募書類を作成する② <li style="padding-left: 20px;">エントリーシート編 		
11	<ul style="list-style-type: none"> ・企業インターンシップの参加について <li style="padding-left: 20px;">インターンシップ参加の形式と目的、および準備の整え方 		
12	<ul style="list-style-type: none"> ・面接選考の考え方 <li style="padding-left: 20px;">企業目線での面接選考を理解し、そのために必要なことを考える 		
13	<ul style="list-style-type: none"> ・面接選考対策① <li style="padding-left: 20px;">個人面接およびグループ面接 		
14	<ul style="list-style-type: none"> ・面接選考対策② <li style="padding-left: 20px;">グループディスカッション 		
15	<ul style="list-style-type: none"> ・就職活動のまとめ <li style="padding-left: 20px;">就職活動の目標と、明日からの具体的行動目標を設定する 		
【成績評価方法】			
<ul style="list-style-type: none"> ◎課題・提出物 50% ◎試験（修業試験、確認テスト） 20% ◎授業態度 30% 			
【教科書・参考書】			
『自分で「考え」、自分で「動く」 キャリアテキスト』 株式会社パーソナルヴィジョン研究所・著 ※2年次購入済			
【教材・教具】			
各種ワークシート			

科目名	縫製工学	整理番号	
学科	ファッション・プロデュース学科	期	前期
コース	ファッション・プロデュースコース		昼間
学年	3年	授業形態	講義 80% 小テスト 20%
時間数	30	作成者	相馬成男

【科目の到達目標】

アパレル製品の企画・設計、工業生産（縫製・プレス）、出荷に至る各工程では、デザイナー、マーチャンダイザー、パタンナー、縫製担当者、生産管理者、品質管理者など多くの専門技術者・技能者が携わっており、それぞれの業務の基礎知識と技術、もの作りに対する考え方が理解できる人材育成を目指し、社会へ出て自分を取り巻く関係者と円滑に意思疎通が図れることができることを目標とする。

【科目の概要】

専門学校では注文服（オートクチュール）作りを主体に履修するが、社会へ出ると既製服（プレタポルテ）が主流であり、工業生産的もの作りの道理、実務工程の知識を習得し、自分を取り巻く関係者と円滑に意思疎通が図れる技術者を養成するため、アパレル業・縫製加工業の役割、繊維製品の品質に関わる法律、JIS衣料サイズ、表素材・副資材の品質管理、工業パターン設計方法、縫製加工、生産工程管理・品質管理と原価計算を修得する。

【授業計画】 90分/コマ

- 第1週 ・縫製工学とは ・アパレル業と縫製加工業(Ⅰ)
- 第2週 ・アパレル業と縫製加工業(Ⅱ) ・衣服の品質に関わる法律(Ⅰ)
- 第3週 ・衣服の品質に関わる法律(Ⅱ)
- 第4週 ・JIS衣料サイズ
- 第5週 ・衣服の品質(Ⅰ)
- 第6週 ・衣服の品質(Ⅱ) ・原反検査(Ⅰ)
- 第7週 ・原反検査(Ⅱ)
- 第8週 ・副資材と付属品・・・芯地、接着芯地
- 第9週 ・副資材と付属品・・・裏地、縫い糸、ボタン、ファスナー、中入れ綿
- 第10週 ・工業用パターンと縫製仕様書 ・グレーディング
- 第11週 ・縫製準備工程
- 第12週 ・縫い目形式、工業用ミシン・縫合、工業用ミシン針
- 第13週 ・アイロン ・プレス
- 第14週 ・縫製工程の管理・・・生産システム、縫製工程表
- 第15週 ・縫製工程の管理・・・品質管理、原価計算

【成績評価方法】

- ・平常点（出席率、授業態度）・・・10%
- ・理解力（毎回の小テスト）・・・50%
- ・理解力（期末試験）・・・40%

【教科書・参考書】

- ・『縫製工学』 齋藤景一郎著 2版 上田学園服飾手帖社2015年3月1日発行

【教材・教具】

- ・教科書（適宜配布資料）
- ・筆記具

科目名	プレゼンテーション技術	整理番号	
学科	ファッションプロデュース学科	期	通年
コース	ファッションプロデュースコース		昼間
学年	3年	授業形態	講義 30 % 実習 70 %
時間数	60	作成者	高木義隆

【科目の到達目標】

企画の書作成を通し時代の変化、人々の嗜好、価値観の変化を読み取る力を身につける。
また自分の考えを他人に伝える力、手順を身につける。

【科目の概要】

ビジネス企画書作成 プレゼンテーション

【授業計画】

90分/コマ		前期	後期
1、2	年間スケジュール説明 ビジネス企画書の意味を説明 プレゼンの目的説明	16 17	前記を踏まえビジネス企画書の説明 ニーズの発見～
3	企画書作成の手順説明	18 19 20	
4	コンセプトの意味 コンセプトの立て方を説明	21 22	
5	ニーズの意味ニーズの発見法を説明	23 24 25	個人の企画書作成に対するアドバイス
6	ターゲット企画の意味を説明	26 27	
7	商品企画の意味手順説明	28	
8	プロモーションの意味を説明	29	プレゼンテーション
9	チャネルの意味を説明	30	まとめ 何を学ぶことができたのか確認。
10、11	商業施設リサーチ 実商業施設のコンセプトと経営状況を把握し コンセプトの意味を深く理解する		
12	リサーチプレゼン		
13	コンセプト作成のためマトリックス図作法を 説明		
14	ビジネスを意識した企画書の説明		
15	まとめと後期のスケジュール説明		

【成績評価方法】

提出物評価60% テスト30% 授業態度10%

【教科書・参考書】

【教材・教具】

筆記用具 コンピュータ

科目名	ファッションデザイン論Ⅲ	整理番号	
学科	ファッション・プロデュース学科	期	通年
コース	ファッション・プロデュースコース		昼間
学年	3年	授業形態	講義 20% 実習 70%
時間数	60	作成者	野田光晴・高木義隆

【科目の到達目標】

市場を多方面から考えて企画立案ができる
後期からは海外研修の提携校でのプレゼンを実施できるようにする。

【科目の概要】

市場みながらアイデアを考え企画の立て方を理解し提案することが修得できる。

【授業計画】

90分/コマ		前期	後期
1	バンフーデザイン企画① テーマとターゲットの考え方		16 海外研修プレゼンテーション企画① 企画説明とグループ分け
2	バンフーデザイン企画② イメージMAP作成とデザイン出し/バッグ		17 海外研修プレゼンテーション企画② グループミーティング
3	バンフーデザイン企画③ イメージMAP作成とデザイン出し/Tシャツ		18 海外研修プレゼンテーション企画③ リサーチ (情報収集)
4	バンフーデザイン企画④ 修正と追加		19 海外研修プレゼンテーション企画④ リサーチ (情報分析)
5	バンフーデザイン企画⑤ プレゼンテーション		20 海外研修プレゼンテーション企画⑤ デザイン提案 (ラフ画)
6	ユニフォーム企画① テーマからのコンセプトとターゲット		21 海外研修プレゼンテーション企画⑥ デザイン提案 (デザイン画)
7	ユニフォーム企画② デザイン出し		22 海外研修プレゼンテーション企画⑦ デザイン提案 (デザイン画)
8	ユニフォーム企画③ 修正と追加		23 海外研修プレゼンテーション企画⑧ PowerPoint制作
9	ユニフォーム企画④ デザイン企画完成		24 海外研修プレゼンテーション企画⑨ PowerPoint制作
10	ユニフォーム企画⑤ プレゼンテーション		25 海外研修プレゼンテーション企画⑩ グループ発表 (リハ)
11	コンペティション企画① コンセプトとテーマ		26 海外研修プレゼンテーション企画⑪ 発表資料修正 (ブラッシュアップ)
12	コンペティション企画② イメージとデザイン		27 海外研修プレゼンテーション企画⑫ 最終発表
13	コンペティション企画③ デザイン		28 海外研修報告会① グループ作業
14	コンペティション企画④ 修正と追加		29 海外研修報告会② グループ作業
15	コンペティション企画⑤ デザイン完成		30 海外研修報告会③ 発表 (次年度報告用)

【成績評価方法】

提出物評価60% テスト30% 授業態度10%

【教科書・参考書】

プリントを配布

【教材・教具】

筆記用具

科目名	トレーニングタイムA(論文基礎研究)	整理番号	
学科	ファッション・プロデュース学科	期	前期
コース	ファッション・プロデュースコース		昼間
学年	3年	授業形態	講義 30% 実習 70%
時間数	30	作成者	高木義隆

【科目の到達目標】

クリエイティブな表現から始まり、感性的な分野を論理的に分析できる力を身に付け、様々な事象から課題の発見と、その解決策を考える事のできる人材育成を目指す。

【科目の概要】

FP学科4年次の「卒業論文」の為の事前学習。4年次での自分野の研究テーマを絞り込む為に、論文の基礎的なマナーや書式を学ぶ。FP学科卒生の強豪は大卒者なので、遜色のない知識とスキルを身に付ける。

【授業計画】

90分/コマ

- 1 論文とは
論文・小論文・レポート・随筆・作文、、、との違いについて
- 2 卒業生の論文を読んでみる
論文のマナーや書式について
- 3 文書トレーニング①
一般論文を読んで要約文を作成する
- 4 文書トレーニング②
一般論文を読んで要約文を作成する
- 5 事例研究①
ファッション関連の研究を解読する
- 6 事例研究②
ファッション関連の研究を解読する
- 7 調査方法①
テキストデータ収集の方法とルール
- 8 調査方法②
定量的データ収集の方法とマナー
- 9 分析方法
SWOT、アンケート、ヒアリングの分析方法
- 10 分析結果の視覚化
図表やグラフ、ポジショニングマップ等のビジュアル化
- 11 研究テーマ設定①
研究テーマとしてふさわしい条件、研究箇所の絞り込み方
- 12 研究テーマ設定②
自分野の先行研究を探す(論文・著書・WEB等)
- 13 研究テーマ設定③
自分野の先行研究を探す(論文・著書・WEB等)
- 14 卒業論文テーマ発表(テスト)
研究テーマ、課題、問いについて
- 15 評価と次年度までの準備

【成績評価方法】

提出物評価60% テスト30% 授業態度10%

【教科書・参考書】

石黒圭(2020)「この1冊できちんと書ける！論文・レポートの基本」日本実業出版社
レジュメ等適宜に配布

【教材・教具】

PC、ノート、筆記具、書籍。論文等

科目名	トレタイ(知的財産法)	整理番号	
学科	ファッション・プロデュース学科	期	後期
コース	ファッション・プロデュースコース		昼間
学年	3年	授業形態	講義 100%
時間数	30	作成者	小柴 昌也

【科目の到達目標】

本講義では、私たちの生活と関連のある法律の仕組みと本質について見極め、特にファッションと知的財産法(商標・意匠・著作権など)がどのような関係にあるかを判断できるリーガルマインドを構築することを目標とする。また、授業内容は、国家資格でもある「知的財産管理技能士」の三級取得を念頭においたものとする。

【科目の概要】

知的財産は、ファッション業界のような企業活動だけでなく、日常生活とも密接な関係にある。また、現代では、その知的財産の保護と利用との間のバランスを図っている法律の役割が極めて重要となってきている。本講義では、ファッションを取り巻く知的財産を取り上げながら、現代社会における知的財産の法的枠組みを理論的・体系的に紹介する。

【授業計画】 90分/コマ

- 1 ガイダンス(講義の進め方など)、法律とは何か
- 2 ファッション業界を取り巻く法律(知的財産法を中心に)
- 3 特許法・実用新案法 目的・保護対象・要件・手続き・活用・侵害
- 4 意匠法(1)目的・保護対象・要件・手続き・活用・侵害
- 5 意匠法(2)ファッションとの関連
- 6 商標法(1)目的・保護対象・要件・手続き・活用・侵害
- 7 商標法(2)ファッションとの関連
- 8 著作権法(1)目的・保護対象・著作者・著作者人格権
- 9 著作権法(2)財産権・著作隣接権・侵害
- 10 著作権法(3)ファッションとの関連
- 11 ネットショップ関連法規(会社の設立からネットショップ構築・運営まで)
- 12 国際的な取引における知的財産(条約)
- 13 その他の知的財産に関する法律
- 14 まとめ
- 15 試験

【成績評価方法】

期末試験 50% 授業態度 50%

【教科書・参考書】

知的財産管理技能検定 3級公式テキスト[改訂10版] アップロード 改訂10版(2019/3/10)
 ※最新のものを購入すること。

【教材・教具】

PC ディスプレイ(大型TV)

科目名	トレタイ(知的財産法)	整理番号	
学科	ファッション・プロデュース学科	期	後期
コース	ファッション・プロデュースコース		昼間
学年	3年	授業形態	講義 100%
時間数	30	作成者	小柴 昌也

【科目の到達目標】

本講義では、私たちの生活と関連のある法律の仕組みと本質について見極め、特にファッションと知的財産法(商標・意匠・著作権など)がどのような関係にあるかを判断できるリーガルマインドを構築することを目標とする。また、授業内容は、国家資格でもある「知的財産管理技能士」の三級取得を念頭においたものとする。

【科目の概要】

知的財産は、ファッション業界のような企業活動だけでなく、日常生活とも密接な関係にある。また、現代では、その知的財産の保護と利用との間のバランスを図っている法律の役割が極めて重要となってきている。本講義では、ファッションを取り巻く知的財産を取り上げながら、現代社会における知的財産の法的枠組みを理論的・体系的に紹介する。

【授業計画】 90分/コマ

- 1 ガイダンス(講義の進め方など)、法律とは何か
- 2 ファッション業界を取り巻く法律(知的財産法を中心に)
- 3 特許法・実用新案法 目的・保護対象・要件・手続き・活用・侵害
- 4 意匠法(1)目的・保護対象・要件・手続き・活用・侵害
- 5 意匠法(2)ファッションとの関連
- 6 商標法(1)目的・保護対象・要件・手続き・活用・侵害
- 7 商標法(2)ファッションとの関連
- 8 著作権法(1)目的・保護対象・著作者・著作者人格権
- 9 著作権法(2)財産権・著作隣接権・侵害
- 10 著作権法(3)ファッションとの関連
- 11 ネットショップ関連法規(会社の設立からネットショップ構築・運営まで)
- 12 国際的な取引における知的財産(条約)
- 13 その他の知的財産に関する法律
- 14 まとめ
- 15 試験

【成績評価方法】

期末試験 50% 授業態度 50%

【教科書・参考書】

知的財産管理技能検定 3級公式テキスト[改訂10版] アップロード 改訂10版(2019/3/10)
 ※最新のものを購入すること。

【教材・教具】

PC ディスプレイ(大型TV)

科目名	海外研修II	整理番号	
学科	ファッション・プロデュース学科	期	後期末 8日間
コース	ファッション・プロデュースコース		昼間
学年	2年	授業形態	リサーチ50% 講義50%
時間数	60	作成者	高木義隆

【科目の到達目標】
 研修先に赴き、現地の言語での講義を受講し、マーケティングやマーチャンダイジング等の知識を得る。
 帰国後、現地の市場をリサーチした内容をプレゼンテーション発表する。

【科目の概要】
 学校の授業で得たビジネス及びマーケティング等の知識と、英会話を基に現地の市場を視察、調査する。
 更に世界のトップブランドの生産工場見学で、川上から川下までの全体像を窺う。
 また、海外のファッション都市の文化的背景やファッション市場の知見を広め、今後のビジネス展開に生かす。

【授業計画】 90分/コマ

- 1 研修施設での講義受講 (装飾美術館・現地ファッションスクールでの授業)
- 2 研修施設での講義受講 (現地ファッションスクールでの授業) グッチミュージアム鑑賞
- 3 研修施設での (現地ファッションスクールでプレゼンテーション) 市街地リサーチ
- 4 研修先 (クラッチバッグの生産工場見学・現地ファッションスクールの視察) 市街地リサーチ
- 5 研修先 (ウフィツィ美術館鑑賞) 施設リサーチ
- 6 リサーチレポートまとめ (グループワーク)
- 7 リサーチレポートまとめ (グループワーク)
- 8 発表 (海外研修報告会)

【成績評価方法】
 研修後のリサーチ課題発表 100%

【教科書・参考書】

【教材・教具】
 筆記用具 カメラ コンピュータなど